

平成19年度 事務事業評価表		担当	市民福祉部 児童課				内線等	2154
事務事業名	保育等指導事業				事業コード	2 . 内部管理事務事業		
根拠法令等	児童福祉法				A 法令			

総合計画での位置付け

基本目標	3 . 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	児童・母子(父子)福祉
------	----------------------	-----	-------------

事務事業の内容

対象(受益者)	保育士に対して
手 段	研修会や保育指導等を行い保育士の資質を向上させたり、子育てを支援することにより
想定する成果	児童の健全育成に資する

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
研修会	全体2回、内容別	全体2回、内容別	全体2回、内容別
指導訪問	18園	18園	17園
公開保育研究会	中部保育園	形原南保育園	北部保育園

成果指標

成果指標名	保育士一人当たりの年間研修時間	保育士一人当たりの年間研修参加回数
成果指標の説明	延研修参加時間 / 全保育士数	延研修参加回数 / 全保育士数

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		45.9時間				47.0時間				48.1時間			
成果指標		12.3回				12.5回				13.0回			
事業費	事業費	337				353				423			
	人件費	10,898				10,934				10,983			
	(人数)	正規	1.4	非常勤		正規	1.4	非常勤		正規	1.4	非常勤	
	合計	11,235				11,287				11,406			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他	330				322				200			
	一般財源	10,905				10,965				11,206			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	経費削減の中、外部講師を招いたり、目的別に近隣市町村の視察を実施。内部研修についても年齢別や経験別で行う等、研修内容の充実をはかっている。
経済効率性	3	3	3	3	マイクロバスを利用した中堅保育士の視察、公用車利用による副園長の視察等を実施。指導訪問時に保育を公開し、10年未満の保育士の研修の場としている。
事務効率性	2	2	2	2	指導訪問では、指導補佐、指導保育士が指導にあっている。
必要性	-	3	-	3	内部管理事務事業
小計	8	11	8	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	
合計	11	11	11	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B
------	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

<p>前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」</p> <p>現在の園長・副園長は、団塊世代が多く、長くその職に留まっている。団塊世代がいなくなると一気に若返りが図られる。そのときに保育園の運営が円滑に行えるよう、今後、中堅保育士世代を指導者として育成していく必要がある。公開保育や保育指導の場への参加、また研修等に積極的に参加させ、指導者の育成を図っていかねばならない。</p> <p>上記改善点の実施状況</p> <p>次のリーダー保育士養成のために主査をおき、意識改革、自主研修を行ったり、復副園長を補佐する仕事を体験させている。中堅保育士が指導力をつける場として、グループによる課題研究を行ったり、保育を公開して指導力をつけ、初級保育士に研修する場としている。</p>

今後さらに改善すべき点

<p>団塊の世代の園長副園長が退職の時期を迎え、管理職等の若返りが図られる。求められる指導力をつけるために園内だけでなく、市全体の研修における講師を務めたり、他園への指導訪問等に積極的に参加することが求められる。</p>
--

平成21年度予算に反映する項目

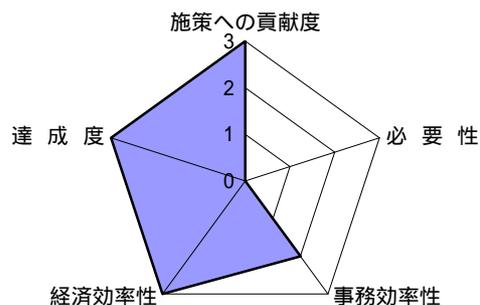
--

今後の方向性

<p>現状維持</p>

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点